

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

令和5年4月18日に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果をお知らせします。

調査結果においては、全国正答率、神奈川県正答率と比べ、高い状況でした。

実施学年は6年生のみですが、調査によって見えてきた特徴は、本校における全学年を通じた特徴でもあり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果を踏まえ、今後も引き続き、全職員でよりよい学校づくり、授業づくりに取り組んでいきます。

【集計結果】

	国語	算数
伊勢山小学校正答率	72%	69%
神奈川県正答率	66%	63%
全国正答率	67.2%	62.5%

◇よい状況と考えられる内容 ◆指導・改善が必要と考えられる内容

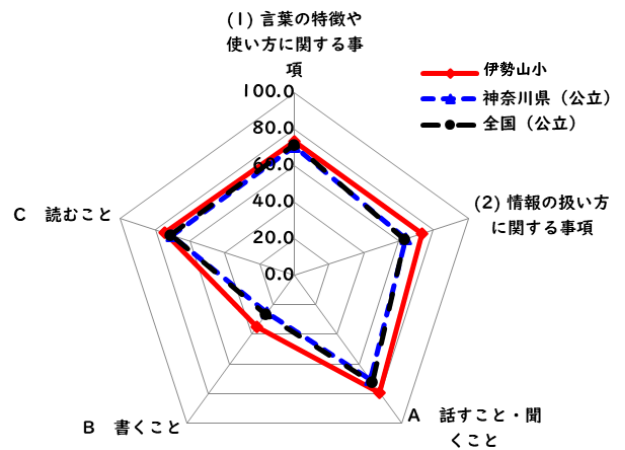
<国語>

【知識及び技能】

- ◇原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
- ◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

- (話すこと・聞くこと)
- ◇必要なことを質問ながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。
- (書くこと)
- ◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- (読むこと)
- ◇目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。



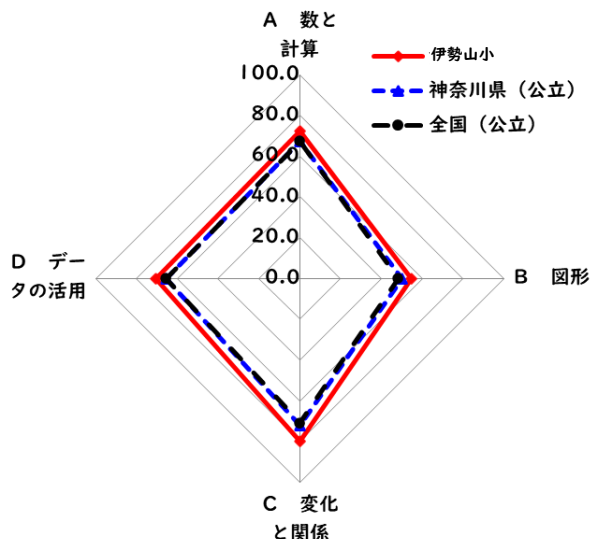
<算数>

【知識及び技能】

- ◇原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
- ◇正三角形の意味や性質について理解している。
- ◆正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。
- ◆加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。

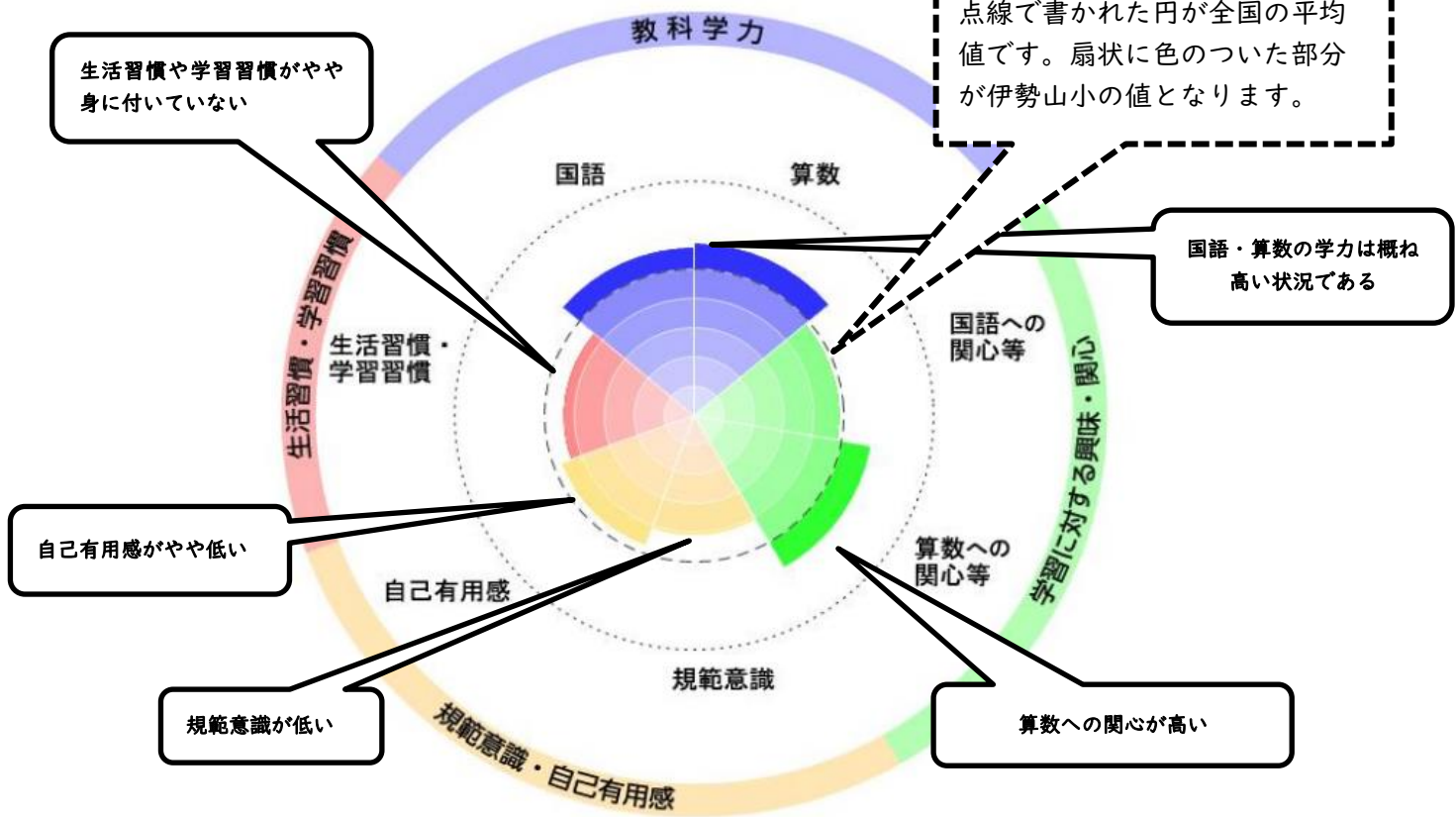
【思考力・判断力・表現力等】

- ◇高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。
- ◇示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。
- ◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。



【全国平均と伊勢山小学校との比較】

【グラフの見方】
点線で書かれた円が全国の平均値です。扇状に色のついた部分が伊勢山小の値となります。



(これまでの取組)

- 国語科の学習においては、身に付けさせたい資質・能力を子どもに伝えることで単元のゴールを意識した学習活動を取り入れてきました。特に、自分の思いや考えをもって学習に臨み、相手に分かるように伝える力を育むための支援をしてきました。
- 算数科の学習においては、自力解決の時間を確保し、グループでの考えを共有し、まとめを創り上げる活動を進めていけるような指導の工夫をしてきました。
- 歯磨きチェック週間やあいさつ運動など基本的な生活習慣の確立を目指しました。また、安心・安全に学校生活を送ることができるよう力を入れてきました。

(今後の取組)

- 国語科の学習においては、継続して自分の思いや考えを整理して、表現していく場面を設定していきます。
- 算数科の学習においては、個人の学習課題に即した指導や支援を引き続き行い、考えた内容を式や図、言葉で説明したりする場面をさらに多くするなど、活用する力を伸ばす工夫をしていきます。
- 授業時間内の「できた・わかった」ことを感じられるよう、どの教科においても振り返りを意図的、計画的に設定します。また、振り返りを通して、更なる課題を子ども自らが設定できるような支援も行っていきます。
- 学校生活では、児童一人一人のよさを認め、自己有用感を高めていけるようにします。そのために自分づくりパスポートを活用することで、自分の成長を自分自身で見つめ、感じられるような時間を設定していきます。